

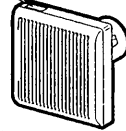
MITSUBISHI

三菱パイプ用ファン〈浴室・トイレ・洗面所用〉

形名
V-08PPKL4

取付工事説明書 **工事店さま用**

形名表示位置



この製品の運転にはスイッチが必要です。
スイッチの位置を確認してください。

取付工事終了後は、必ずこの説明書をお客さまにお渡しください。

取付工事を始める前にこの説明書をよくお読みになり、正しく安全に取付けてください。

- 接続パイプは市販の塩化ビニル管、銅板管のいずれかをご用意ください。
- 直接屋外に排気する場合は、雨水浸入防止のため屋外フードなどを取付けてください。
- この製品の運転・停止にはスイッチが必要です。

安全のために必ず守ること

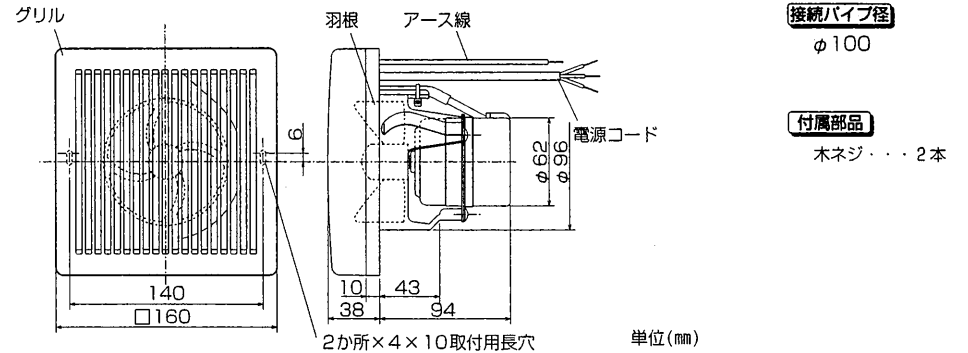
●誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を次の表示で区分して説明しています。

警告 誤った取扱いをしたときに死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの	
<p>禁止</p> <ul style="list-style-type: none"> ●内釜式風呂を据付けた浴室には取付けない 排気ガスが浴室内に逆流し、一酸化炭素中毒をおこすことがあります 	<p>指示に従う</p> <ul style="list-style-type: none"> ●交流100Vを使用する 直流や交流200Vを使用すると火災や感電の原因になります ●換気扇や金属製ダクトがメタルラス張り、ワイヤラス張り、ステンレス板などの金属と電気的に接続しないように取付ける 〔電気設備の技術基準 解釈第167条3項〕 接続されていると漏電した場合火災の原因になります
<p>分解禁止</p> <ul style="list-style-type: none"> ●改造や必要以上の分解はしない 火災・感電・けがの原因になります 	
<p>アース確認</p> <ul style="list-style-type: none"> ●アース線を確実に取付ける 故障や漏電のときに感電することがあります 	
注意 誤った取扱いをしたときに傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの	
<p>禁止</p> <ul style="list-style-type: none"> ●直接炎のあたる場所や油煙・有機溶剤のある場所には取付けない 火災のおそれがあります ●浴室内に壁スイッチを設けない 感電のおそれがあります 	<p>指示に従う</p> <ul style="list-style-type: none"> ●配線工事は電気設備の技術基準や内線規程に従って安全・確実に行う 接続不良や誤った配線工事は、感電や火災のおそれがあります ●本体の取付工事は十分強度のあるところを選んで確実に行う 落下によりけがをすることがあります ●部品の取付けは確実に行う 落下によりけがをすることがあります ●取付け後長期間使用しないときは、必ず分電盤のブレーカーを切る 絶縁劣化による感電や漏電火災の原因になります
<p>指示に従う</p> <ul style="list-style-type: none"> ●取付けの際は手袋を着用する 着用しないけがをすることがあります ●電気工事は必ず電気工事に依頼する 感電の原因になります 	

お願い

- 高温(40℃以上)になるところに取付けないでください。故障の原因になります
- アルミフレキシブルダクトへの取付けはしないでください。振動の原因になります
- 屋外フードは壁厚にあったものを選んでください。壁厚により取付けられないものがあります
- グリルから水滴が落ちてでも不快にならない場所に取付けてください。
- 天井板は、振動・共鳴音防止のため強度のあるものを取付けてください。
- 効果的な換気を行うために給気口を設けてください。

各部のなまえと外形寸法図



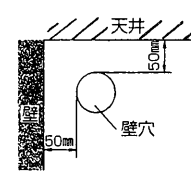
取付方法

1.取付け前の準備

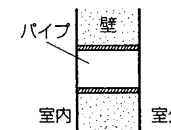
壁取付けの場合

壁穴へのパイプの固定

- ①取付場所を決めて壁穴を開ける。
●パイプには塩化ビニル管の薄肉(VU)管と厚肉(VP)管および銅板管があります。
壁厚に応じてパイプの長さを決めてください。



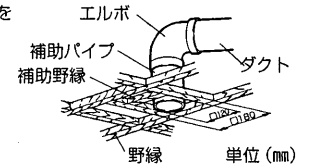
- ②壁穴にパイプを確実に固定する。
パイプと壁のすき間はコーキング処理を施します。
●固定が不十分ですと振動したり異常音が発生する原因になります。
●パイプは室内壁面より出ないように差し込みます。



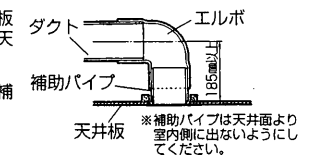
天井取付けの場合

野縁工事とダクト配管

- ①右図のように野縁工事をし、ダクト配管をする。



- ②ダクトの中心から天井板まで185mm以上離れて天井板をはる。
- ③エルボと天井板の間は補助パイプを接続する。
※補助パイプは天井面より室内側に出ないようにしてください。

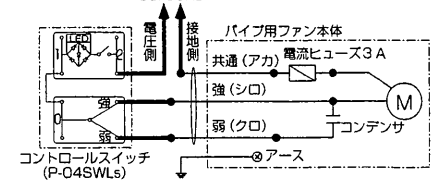


2.電気工事

電源の接続・配線工事などは、必ず専門の電気工事店へご依頼ください。

- システム部材のスイッチを取付ける場合はシステム部材に同梱の取付工事説明書に従ってください。
- 市販のスイッチを使用される場合は適切なスイッチを組合わせて結線してください。
- 防火ダンパー付フードを使用される場合、ダンパーが閉じるとき電源線をはさまないように配線してください。
- 屋外に電源コンセントを設ける場合は雨のあたらないところに設けてください。

■結線図 太線部分を結線する
電源AC100V 50/60Hz



3.本体の取付け(壁取付け・天井取付けともに同様の取付けかたです)

- (1)グリル締付ネジをゆるめて、グリルを本体からはずす。
- (2)結線をする。
●電源との接続はかしめ端子などを使用し、確実に接続してジョイントボックスに納める。
- (3)アース線を接続する。
- (4)本体の上下を確認してパイプに差し込み付属の木ネジで本体を固定する。
- (5)グリルを本体に取付ける。
●グリルの方向を間違えないよう本体にはめ込み、グリル締付ネジを締め付ける。
- (6)以上の工事が終了した後、本体とグリルが確実に取付けられているか確認する。

